

令和2年度『5大学連携医療フォーラム』開催報告

開催日：令和2年9月18日（金）13:30～14:55

場所：オンライン会議形態（Zoom利用）

プログラム：第Ⅰ部 特別講演

第Ⅱ部 パネルディスカッション

※新型コロナウイルス感染症拡大の懸念からオンライン開催

「5大学連携医療フォーラム」は、京都大学がんプロ拠点（京都大学、三重大学、滋賀医科大学、大阪医科大学、京都薬科大学）が、毎年、医療関係従事者、教育研究者、学生を対象として、高度がん医療を先導するがん医療人養成を目指し、また、がん医療の一層の受持つ・発展を進めるため開催しています。

今年度は、『**がん患者や家族の視点を教育内容に反映**』をテーマに、第Ⅰ部「特別講演」と第Ⅱ部「パネルディスカッション」を行いました。



総合司会 細木 誠之
(京都薬科大学)



開催挨拶 醍醐 弥太郎
(滋賀医科大学)

第Ⅰ部 特別講演

講演者：特定非営利活動法人 がんと共に生きる会 副理事長 濱本 満紀
演題：『適切ながん情報の活用とより良いコミュニケーション
～患者にもできること、医療者にしかできないこと』

(司会) 大阪医科大学 附属病院 化学療法センター
センター長・准教授 後藤 昌弘



第Ⅱ部 パネルディスカッション

司会進行	：滋賀医科大学 医学系研究科 外科学講座	教授	谷 眞至
パネリスト1	：京都大学 医学研究科 婦人科学・産科学分野	教授	万代 昌紀
パネリスト2	：三重大学 医学部 附属病院 小児トータルケアセンター	准教授	岩本 彰太郎
パネリスト3	：滋賀医科大学 医学系研究科 臨床腫瘍学講座	特任講師	寺本 晃治
パネリスト4	：大阪医科大学 附属病院 化学療法センター	センター長・准教授	後藤 昌弘
パネリスト5	：京都薬科大学 薬学研究科 臨床薬学教育研究センター	講師	中村 暢彦



谷 眞至
(滋賀医科大学)



万代 昌紀
(京都大学)



岩本 彰太郎
(三重大学)



寺本 晃治
(滋賀医科大学)



後藤 昌弘
(大阪医科大学)



中村 暢彦
(京都薬科大学)

5大学連携 令和2年度 医療フォーラム

【高度がん医療を先導するがん医療人養成】

日時：令和2年9月18日（金）13:30～14:55 参加費：無料

全体テーマ『**がん患者や家族の視点を教育内容に反映**』

総合司会 京都薬科大学コーディネーター薬学研究科薬学専攻病態生理学分野 教授 芦原 英司

【開会の挨拶】 13:30～13:35
滋賀医科大学コーディネーター 医学系研究科臨床腫瘍学講座 教授 醍醐 弥太郎

【第Ⅰ部 特別講演】『適切ながん情報の活用とより良いコミュニケーション～患者にもできること、医療者にしかできないこと』
13:35～14:00
司会 大阪医科大学 附属病院 化学療法センター長 後藤 昌弘
講演 特定非営利活動法人 がんと共に生きる会 副理事長 濱本 満紀

【第Ⅱ部 パネルディスカッション】 14:05～14:50
(司会) 滋賀医科大学 医学系研究科 外科学講座 (消化器・乳腺・一般外科) 教授 谷 眞至
京都大学 医学研究科 医学専攻 婦人科学・産科学分野 教授 万代 昌紀
三重大学 医学部 附属病院 小児トータルケアセンター 准教授 岩本 彰太郎
滋賀医科大学 医学系研究科 臨床腫瘍学講座 特任講師 寺本 晃治
大阪医科大学 附属病院 化学療法センター センター長・准教授 後藤 昌弘
京都薬科大学 薬学研究科 薬学専攻 臨床薬学教育研究センター 講師 中村 暢彦

【閉会の挨拶】 14:50～14:55
京都薬科大学コーディネーター 薬学研究科薬学専攻病態生理学分野 教授 芦原 英司